



暖かい心 広い視野 行動力 『県民ひろば号外』

# もりちゃん通信

大分県議会議員 守永信幸活動報告

発行責任者  
大分県議会・県民クラブ  
守永 信幸  
〒870-0022  
大分市大手町3-2-9  
TEL 097-534-2021  
FAX 097-536-0595

## ウィズ・コロナからの脱却 ～地域の発展に繋ぐ～

新春をいかがお迎えでしょうか。昨年  
の1月以降、中国発の新型コロナウイルス  
感染症が世界中に蔓延し、長いトンネルの  
中を進む状態が続いています。国内でも健  
康・経済の両面で不安に陥っています。ワ  
クチンや治療薬の開発も進められていま  
すが、薬の安全性の確認など、時間が掛  
かる課題が残されています。薬剤の開発・普  
及までに医療崩壊を招かないよう、衛生管  
理や生活管理をしながらこらえていかな  
ければなりません。経済的にも限界に近い  
企業が、今を持ちこたえるための支援策  
を展開させなければなりません。

### アフターコロナに飛躍するために

大分県は、観光立県を宣言し、温泉など  
大分県の魅力を発信してきました。中国  
や韓国、台湾などからの来訪者が増大  
し、ラグビーワールドカップを契機に  
ヨーロッパ諸国の注目を浴び、新たな  
ステップへ進もうとした矢先に、新  
型コロナウイルス感染症の影響を受け  
てしまいました。次のステップアップ  
につながる施策を講じ、アフター・  
コロナにいち早く躍進を果たさな  
ければなりません。

国際路線が縮小した今、アフターコ  
ロナには、新たな路線開拓のチャン  
スも巡ってきます。このチャンスを  
逃してはなりません。大分空港へ  
の海上アクセスと併せて、大分空  
港からの2次交通の充実や大分  
県の魅力を発信するツールを磨  
き上げることが重要です。

観光客の来県がこれまで通りに  
戻るに

### 暮らしの相談承ります。

政治は暮らしに直結しています。  
守永信幸が暮らしの相談を承り、  
専門家とともに解決をめざします。  
まずは、お電話を！

TEL 097-532-4919  
FAX 097-534-6598



▲新規就農する若者との意見交換

は時間が掛かると思われますが、ま  
ずは農林水産業を活性化させ、県  
内で景気の好循環を生み出すこと  
が大切だと考えます。県下の基盤  
を活かし、各地域に雇用の場を創  
出するためにも、農林水産業につ  
いて消費者の皆さんの理解を深  
めて頂き、産物の購入・活用を進  
めたいと思います。

農林水産業から始めて、農山漁  
村の商店街など第三次産業へと景  
気の好循環を繋げて参ります。

### 都市住民と農村を繋ぐ

#### 大分県農業文化公園

農林水産委員会で、杵築市山香町  
にある農業文化公園を訪ねまし  
た。

広い敷地ながら、きれいに整備さ  
れており、四季折々にネモフィラ  
やコキア等のゾーンを作り見応  
えのある空間を演出。

椿の品種を100種以上揃えた展  
示室もあり、季節ごとに訪れた  
くなる工夫が。



# 大分市一大分空港海上アクセス ～ホーバークラフト再就航か～

## 大分市一大分空港間の時間短縮

報道発表のあったホーバークラフトの再就航について12月議会に提案がありました。大分市内のホーバー基地と大分空港を約29分で結ぶホーバークラフトは、2009年に機体の老朽化と国内にエンジン等の部品提供可能な企業がないということ等で、廃止となりました。

ホーバー大分航路は1971年に大分空港の安岐町(現在の国東市)への移転とともに、大分市と空港との海上アクセスとして就航しました。当初は50人乗りの小型の船体であったため、少しの波でも上下動が激しく、辛い乗り物でしたが、100人乗りの大型の船体が変わってから、安定性が向上し、乗り心地も改善されました。

就航当初から廃止されるまで、課題となったのは騒音問題です。多くの方々は馴れたとは言え、夜間の発着時に眠れないという苦情はあったようです。最近の船体は、騒音についてもかなり改善されているとのことですが、今回大分市側の発着地は西大分港を想定しており、発着予定地周辺には住宅地以外に結婚式場やライブハウスなどもあり、地域住民の納得する説明が必要だと考えます。

今回の再就航についての予算は、再開に向けての調査と、全て受注製造であるため発注仕様書を検討する予算として、2億8千万円余の補正予算が認められました。

今後検討・整備すべき課題としては、①騒音対策がどの程度必要なのか、②他の船舶との安全の確保、③大分市側の発着場における2次交通の整備、④既存のエアライナー等との共存方法、⑤欠航時の代替輸送手段などがあります。ホーバーの再就航に関して、気がかりなことがあれば、ご連絡下さい。

## 大分ホーバー運行休止の経緯

### 空港アクセスの経緯

- 1961年 大分市内から空港移転検討開始  
ホーバークラフト導入検討
- 1971年 大分空港供用開始
  - ①ホーバークラフト就航
  - ②エアライナー運航開始
- 1978年 別大国道4車線化
- 1991年 空港道路開通
- 2002年 日出バイパス開通
- 2004年 別大国道田ノ浦・生石間が6車線化
- 2009年 ホーバークラフト運行休止
- 2010年 空港道路無料化
- 2012年 別大国道全線6車線化

### ホーバークラフト廃止の要因

- ・リーマンショック後の景気後退に伴う空港利用者の減
- ・エンジン等の部品調達の困難化
- ・道路改良による陸上交通アクセス時間の短縮
- ・燃油高騰による経費の増大

## 発生音の影響

### 発生音のシミュレーション

- ◆ 英国製ホーバークラフトの発生音を元にシミュレーションを実施(R元調査結果)
- ◆ 大分市騒音防止条例の規制対象となる発着施設(陸上部分)のみならず、海上の航路上で発生する音についても規制基準内に収まるとの結果が得られた。



※45ノットで全速運航した場合の発生音の広がり

	朝 午前6時～午前8時	昼 午前8時～午後7時	夕 午後7時～午後10時	夜間 午後10時～午前6時
第1種区域	45dB以下	50dB以下	45dB以下	40dB以下
第2種区域	50dB以下	60dB以下	50dB以下	45dB以下
第3種区域	60dB以下	65dB以下	60dB以下	50dB以下
第4種区域	65dB以下	70dB以下	65dB以下	55dB以下

規制区域
第1種区域
第2種区域
第3種区域
第4種区域

### 【参考】発生音の目安







